

ヤマボウシを記念植樹

上益城地域植樹祭と緑の少年団交流会

町健康福祉センターで10月19日、上益城地域植樹祭が開催されました。

快適で健全な緑空間の維持・創出を目指す植樹祭は、上益城地域みどり推進協議会主催で本町での開催は5年ぶり。関係団体、郡内5小学校の緑の少年団など約130人が出席しました。

開会式では、緑の少年団代表5人が「森や緑の恵みに感謝の気持ちを忘れず、大切に守っていききたい」と緑の誓いを宣誓。同センター敷地に、ヤマボウシ2本、クルメツツジ250本が植樹されました。その後、緑の少年団の交流会が行われ、各校の子どもたちはネイチャーゲームやスーパー竹トンボ作りを楽しみました。



ヤマボウシを記念植樹する緑の少年団



寄贈作品の紹介をする相馬氏

洋画作品を町に寄贈

洋画家相馬氏に町から感謝状

菊陽町出身で洋画家の相馬正道^{そう まさみち}氏が9月、自ら手掛けた洋画作品を本町へ寄贈し、10月21日に除幕式、感謝状贈呈式が行われました。

寄贈作品は阿蘇の火口とそれを眺める人々を描いた、作品名「阿蘇火口浴」で100号の大きさ。町保健福祉センターに飾られました。

相馬氏は「木の暖かさを感じるこの保健福祉センターを見た時、素敵な場所だなあと感じた。こんな場所に飾られて最高にうれしい。画家の人生が終わっても絵だけは残る。たくさんの人に見てもらえれば」と想いを綴りました。

町長は「この絵がセンターの一つのポイントになってくれた。感激している」と感謝しました。

宝くじ助成事業で 「お法使屋会」の備品を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業で、津森・平田地区のお法使屋会に太鼓、衣装等の祭行事備品が整備されました。この事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。

会員からは「新しい太鼓等で祭が出来るのでよかった。大変うれしい」との声が上がっていました。今後の津森・平田地区の益々の活性化が期待されます。



●整備された備品の一部		助成金額	金210万円
小締太鼓	6台	小鼓一等	2台
燈台朱塗	1対	玉垣	1台
高張型提燈	10対	既製品御簾	4垂
手水用具	1式	赤白幕	5枚
御簾本大和錦	2垂	折畳式三段物案	1台
化繊鈴緒麻色	4本		